



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月4日

上場会社名 イリソ電子工業株式会社
 コード番号 6908 URL <https://www.irisoele.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2022年11月8日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
 (氏名) 鈴木 仁
 (氏名) 豊嶋 光由
 TEL 045-478-3111

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	25,543	16.2	3,063	21.3	4,045	64.6	2,901	33.8
2022年3月期第2四半期	21,978	45.8	2,526		2,458		2,168	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 7,697百万円 (174.5%) 2022年3月期第2四半期 2,803百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	123.33	
2022年3月期第2四半期	92.03	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	82,100	68,055	82.3	2,871.56
2022年3月期	73,153	61,776	83.8	2,607.59

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 67,550百万円 2022年3月期 61,337百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		60.00	60.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	23.1	6,750	49.3	7,100	46.7	5,500	40.5	233.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2.(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	24,583,698 株	2022年3月期	24,583,698 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期2Q	1,059,846 株	2022年3月期	1,060,993 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	23,522,889 株	2022年3月期2Q	23,561,244 株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託」が保有する当社自己株式(2023年3月期2Q 149,576株 2022年3月期 150,752株)が含まれております。
また、「役員報酬BIP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。"

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、世界的な高インフレや金融引き締め等により、景気の不透明感は更に増してきました。また、世界自動車市場の30%強を占める中国では第1四半期に上海市を始めとした都市でのロックダウンで工業生産や個人消費が大きく停滞したこと、制限解除後、若干景気の持ち直しは見えるものの、経済成長の減速が継続しております。

当社グループの主要事業領域である自動車の生産・販売は、第1四半期での中国のロックダウンからの挽回や、半導体等の部品不足が穏やかに解消することにより回復傾向にはありますが、未だ正常化には至りませんでした。

このような不透明な事業環境ではありますが、当社グループは、電動化関連におけるパワートレイン分野等、車載市場を中心に売上拡大を図り、また為替が円安に推移したことにより、第2四半期連結累計期間での最高売上高を更新しました。主力である車載市場の売上高は、第1四半期における中国でのロックダウンによる影響や半導体等の供給不足の影響を受けたものの、前年同期比17.5%増となりました。特にパワートレイン分野では、xEV（EV、FCHV、PHV、HEV）の台数増加や当社独自のパワートレイン機器向け耐振ソリューションサービスによる受注拡大を背景に、売上高は前年同期比で76.3%増加し、増収の牽引役となりました。コンシューマー市場では、ゲーム機向けが好調に推移し増収となりました。インダストリアル市場は、中国での設備投資需要が継続して堅調であり、FA関連機器向けの増加や5G通信基地局向けで増加しました。以上の結果、売上高は、前年同期比16.2%増の255億4千3百万円となりました。

利益面では、第1四半期での中国でのロックダウンに伴う上海生産子会社の稼働停止の影響、原材料価格の高騰等の要因がある一方で、第2四半期からの売上高の回復、収益構造改善の取り組みや輸送費の改善、原価低減の推進により、営業利益は前年同期比21.3%増の30億6千3百万円、経常利益は前年同期比64.6%増の40億4千5百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比33.8%増の29億1百万円となりました。

なお、第1四半期のロックダウンに伴う上海生産子会社の稼働停止の影響を、特別損失として3億6千7百万円計上しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末(2022年3月末)に比べ、89億4千7百万円増加し、821億円となりました。この主な要因は、現金及び預金が33億4千1百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が14億2千2百万円、機械装置及び運搬具が12億9千8百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ26億6千8百万円増加し、140億4千5百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が16億1千9百万円、支払手形及び買掛金が4億9千4百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度に比べ、62億7千8百万円増加し、680億5千5百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により29億1百万円増加、配当により14億2千万円減少し、為替換算調整勘定が47億3千8百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月10日に公表いたしました通期業績予想の修正を行っております。

具体的な内容につきましては、本日(2022年11月4日)公表の「第2四半期累計連結業績予想と実績との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,066	17,408
受取手形、売掛金及び契約資産	12,889	14,311
商品及び製品	7,951	8,925
仕掛品	48	72
原材料及び貯蔵品	3,592	4,020
その他	1,922	1,774
貸倒引当金	△34	△36
流動資産合計	40,436	46,476
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,955	5,199
機械装置及び運搬具（純額）	15,260	16,558
工具、器具及び備品（純額）	4,094	4,244
土地	1,765	1,855
建設仮勘定	3,304	3,873
有形固定資産合計	29,380	31,731
無形固定資産		
ソフトウェア	323	329
ソフトウェア仮勘定	707	1,161
のれん	—	136
その他	0	0
無形固定資産合計	1,030	1,628
投資その他の資産		
投資有価証券	617	611
繰延税金資産	1,070	1,074
その他	672	633
貸倒引当金	△55	△55
投資その他の資産合計	2,305	2,263
固定資産合計	32,716	35,624
資産合計	73,153	82,100

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,504	4,999
短期借入金	410	413
1年内返済予定の長期借入金	—	285
未払法人税等	754	823
賞与引当金	568	712
その他	3,652	3,583
流動負債合計	9,889	10,817
固定負債		
長期借入金	—	1,619
退職給付に係る負債	485	500
役員株式給付引当金	57	95
その他	944	1,011
固定負債合計	1,486	3,227
負債合計	11,376	14,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,640	5,640
資本剰余金	8,744	8,744
利益剰余金	41,461	42,941
自己株式	△1,185	△1,178
株主資本合計	54,660	56,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26	22
為替換算調整勘定	6,607	11,345
退職給付に係る調整累計額	43	34
その他の包括利益累計額合計	6,677	11,402
非支配株主持分	439	505
純資産合計	61,776	68,055
負債純資産合計	73,153	82,100

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	21,978	25,543
売上原価	14,344	17,172
売上総利益	7,633	8,371
販売費及び一般管理費	5,107	5,307
営業利益	2,526	3,063
営業外収益		
受取利息	23	44
受取配当金	1	2
為替差益	—	987
補助金収入	6	10
その他	13	80
営業外収益合計	45	1,125
営業外費用		
支払利息	12	38
為替差損	88	—
支払補償費	3	—
デリバティブ評価損	—	96
その他	9	9
営業外費用合計	113	143
経常利益	2,458	4,045
特別損失		
固定資産除却損	49	32
減損損失	42	6
新型コロナウイルス感染症による損失	—	367
特別損失合計	92	405
税金等調整前四半期純利益	2,365	3,639
法人税、住民税及び事業税	396	681
法人税等調整額	△194	6
法人税等合計	202	688
四半期純利益	2,163	2,951
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	50
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,168	2,901

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	2,163	2,951
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	△3
為替換算調整勘定	643	4,759
退職給付に係る調整額	△0	△9
その他の包括利益合計	640	4,746
四半期包括利益	2,803	7,697
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,834	7,631
非支配株主に係る四半期包括利益	△30	66

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,365	3,639
減価償却費	2,518	3,086
のれん償却額	—	15
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△23	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	203	118
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△88	37
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△3	△5
受取利息及び受取配当金	△25	△46
支払利息	12	38
為替差損益 (△は益)	△6	△269
固定資産除却損	49	32
減損損失	42	6
売上債権の増減額 (△は増加)	△174	134
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,665	△321
仕入債務の増減額 (△は減少)	140	△667
その他	377	282
小計	3,724	6,076
利息及び配当金の受取額	27	49
利息の支払額	△11	△39
法人税等の支払額	△376	△642
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,363	5,444
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,717	△3,257
無形固定資産の取得による支出	△300	△489
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△152
その他	△17	35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,035	△3,864
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	△3
長期借入れによる収入	—	2,000
長期借入金の返済による支出	△9	△147
自己株式の取得による支出	△316	△0
配当金の支払額	△1,183	△1,420
リース債務の返済による支出	△66	△67
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,576	361
現金及び現金同等物に係る換算差額	48	1,400
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,200	3,341
現金及び現金同等物の期首残高	14,260	14,066
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,059	17,408

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(役員報酬BIP信託に係る取引について)

当社は、2019年3月期より当社の取締役（監査等委員である取締役、社外取締役及び国内非居住者を除く）及び執行役員（国内非居住者を除く）を対象に、業績連動型の株式報酬制度として「役員報酬BIP信託」（以下「本制度」）を導入いたしました。信託に関する会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 2015年3月26日）に準じております。

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社が設定した信託（役員報酬BIP信託）が当社株式を取得し、当該信託を通じて取締役等に、各事業年度における業績目標の達成度及び役位に応じて付与されるポイントに相当する当社株式及び当社株式の換価処分金相当額の金銭を交付及び給付する制度であります。

なお、信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用を除く）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度858百万円、150,752株、当第2四半期連結会計期間851百万円、149,576株であります。

また、上記役員報酬の当第2四半期連結会計期間末の負担見込額については、役員株式給付引当金として計上しております。

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において、「無形固定資産」の「その他」に含めていた「ソフトウェア仮勘定」は、金額的な重要性が増したため、第1四半期連結累計期間より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結貸借対照表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「無形固定資産」の「その他」に表示していた7億7百万円は、「ソフトウェア仮勘定」7億7百万円、「その他」0百万円として組替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧州	北米	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	5,453	10,172	3,571	2,780	21,978	—	21,978
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	12,177	11,777	0	1	23,956	△23,956	—
計	17,630	21,949	3,571	2,782	45,934	△23,956	21,978
セグメント利益又は損失(△)	2,157	1,783	85	△52	3,974	△1,447	2,526

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の「調整額」△1,447百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△885百万円及び棚卸資産の調整額等△562百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧州	北米	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	5,063	13,206	4,033	3,240	25,543	—	25,543
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	12,431	12,278	0	0	24,711	△24,711	—
計	17,495	25,485	4,033	3,241	50,255	△24,711	25,543
セグメント利益又は損失(△)	1,881	1,836	268	△19	3,967	△903	3,063

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の「調整額」△903百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△941百万円及び棚卸資産の調整額等38百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。